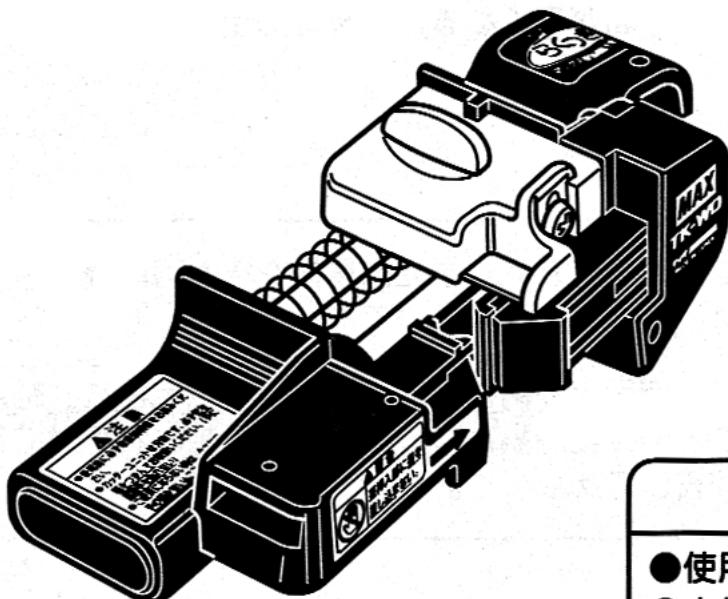




割り接ぎ台木カッター
TK-WD

取扱説明書



! 警告

- 使用前に必ず取扱説明書を読む。
- 本体の茎挿入部に指を差し込まない。

! 注意

- カッターユニット（替刃）は刃物です。刃の部分に直接手を触れないでください。
- 切り込み深さの調整は、カッターユニットを本体にセットした状態でドライバーを使用して行ってください。
- 本機カッターユニットを当社指定の接木切断器具以外の用途には使用しないでください。
- カッターユニットは、必ず把手部をつかんでお取り扱いください。
- 本体及びカッターユニットは絶対に分解または改造しないでください。
- ご使用にならない時は、小さなお子様の手の届かないところに保管してください。
- 定期的にカッターユニット（替刃）を交換する必要があります。カッターユニット交換を行わないと、所定の性能が得られなくなります。
- 使用中、使用後のカッターユニットのお手入れは、綿棒等を使用して水洗いしてください。

- この取扱説明書は常時内容が確認できるよう保管してください。
- 本機の仕様は機能向上のため、予告なしに変更することがあります。

MAX[®]

このたびは、当社製品『らくつき：割り接ぎ台木カッター TK-WD』をご購入頂きまして誠にありがとうございます。本機は、接木作業の効率化、標準化を目指して開発された割り接ぎ用台木切断器具です。T字（2枚刃）カッタ方式を採用し、一度の操作で台木の水平カットと垂直カットを行う事ができます。どなたでも簡単に効率よく作業する為、また良きパートナーとして末永くご愛用頂くために、当取扱説明書にしたがってお取り扱いいただきますようお願い申し上げます。

ご使用上の注意

本機は、ナス、トマト等、果菜類の苗木切断を目的とした接木用切断器具です。指定以外の用途、使用方法は重大な事故につながる恐れがあります。当取扱説明書の記載事項を厳守してください。また、予め苗木の節間が長くなる様に育てて頂くと、本機による作業効率を一層増す事ができます。

■表示について



警告 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定され、絶対に行ってはいけないことが書いてあります。



注意 取扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う危険性が想定され、絶対に行ってはいけないことや、物的損害のみの発生が予想され絶対に行ってはいけないことが書いてあります。

⚠ 警告

- 本体の茎挿入部に指を差し込まない。

⚠ 注意

- カッターユニット（替刃）は刃物です。刃の部分に直接手を触れないでください。ケガの原因になります。
- 切り込み深さの調整は、カッターユニットを本体にセットした状態でドライバーを使用して行ってください。（4ページを参照）
- 本機カッターユニットを当社指定の接木切断器具以外の用途には使用しないでください。ケガや故障の原因になります。
- カッターユニットは、必ず把手部をつかんで取り扱ってください。ケガや故障の原因になります。
- 本体及びカッターユニットは絶対に分解または改造しないでください。ケガや故障の原因になります。
- ご使用にならない時は、小さなお子様の手の届かないところに保管してください。ケガの原因になります。

【お願い】 本機の性能（切断力）維持のため、下記の事項を必ず守ってください。

- 定期的にカッターユニット（替刃）を交換する必要があります。カッターユニット交換を行わないと、所定の性能が得られなくなります。
- カッターユニットのお手入れは、綿棒等を使用して水洗いしてください。
- 湿気の多い場所では保管しないでください。
- 樹液・泥が付着して、本体の動きが悪くなる可能性があります。本機使用後には、本体についていた汚れを水洗いしてください。

1

仕様及び付属品

仕様 らくつぎ マックス割り接ぎ台木カッター

商 品 名	TK-WD
品 番	TK90020
寸 法	(W)150×(D)51×(H)46mm
質 量	120g
切断対象茎径	3~8mm
垂直カット深さ	10~14mmで調整可能
切 断 方 法	T字カッター方式（カッターユニットは消耗品です）
カッター材質	ステンレス (SUS440C)
本体樹脂材質	PC (ポリカーボネイト)

付属品

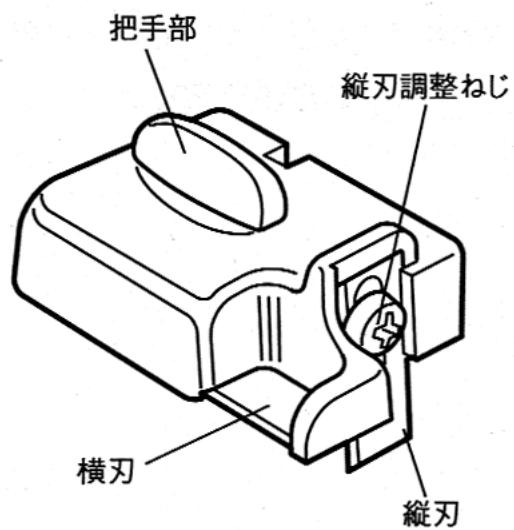
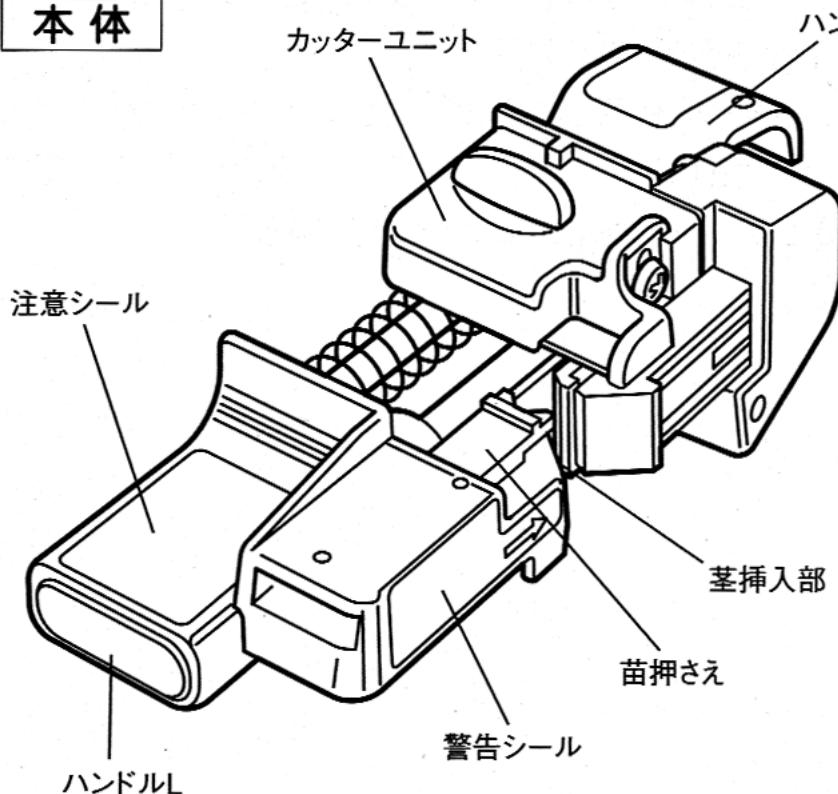
梱包ケースの中には下記の部品が入っていますので、開梱しましたらご使用前に必ずお確かめください。

本体……………1 カッターユニット……2 取扱説明書……………1

2

各部の名称

本体



カッターユニット

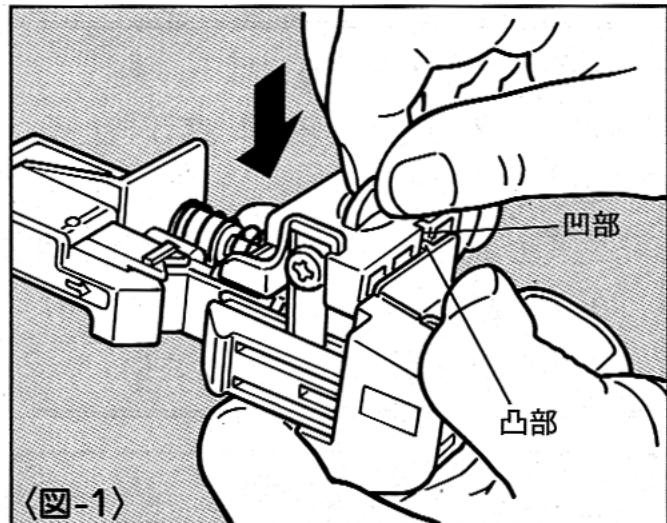
3 使用方法

使用前

本体とカッターユニットのセット

付属のカッターユニットの把手部をつまみ、本体にセットしてください。この際、カッターユニットの凹部に本体の凸部を合わせ、カチッと音がするまで差し込んでください。

〈図-1〉



切り込み深さ(縦刃)の調整

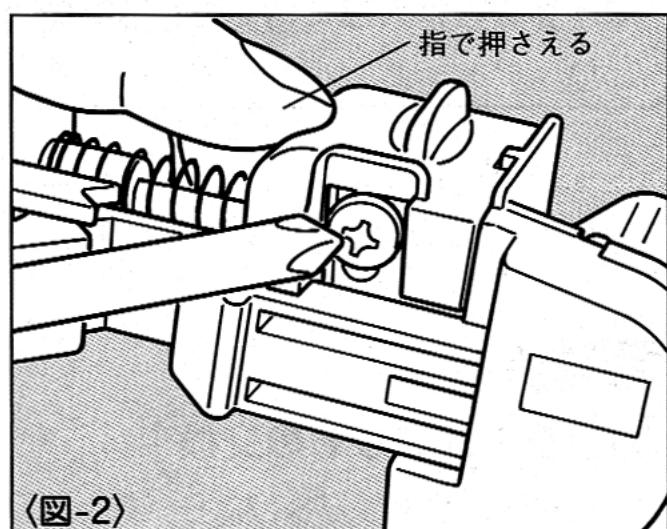
本機は10~14ミリの範囲で台木垂直カットの切り込み深さを調整できます。〈図-2〉(縦刃を下に出すほど、台木の切り込みが深くなります。)

①カッターユニットを本体にセットした状態で、十ドライバーで縦刃調整ねじを左回しに約1回転ゆるめ、縦刃の位置を上下に調整してください。

(この際、縦刃調整ねじをゆるめ過ぎると、縦刃がカッターユニットから外れてしまします。)

②調整が終わりましたら、縦刃調整ねじを確実に締めてください。

(ねじを回す際は、カッターユニットを指で押さえてください。機械が破損する恐れがあります。)



△ 注意

- カッターユニット(替刃)は刃物です。刃の部分に直接手を触れないでください。
- カッターユニットは、必ず把手部をつかんでお取り扱いください。
- 切り込み深さの調整は、カッターユニットを本体にセットした状態でドライバーを使用して行ってください。
- ねじを回す際は、カッターユニットを指で押さえてください。

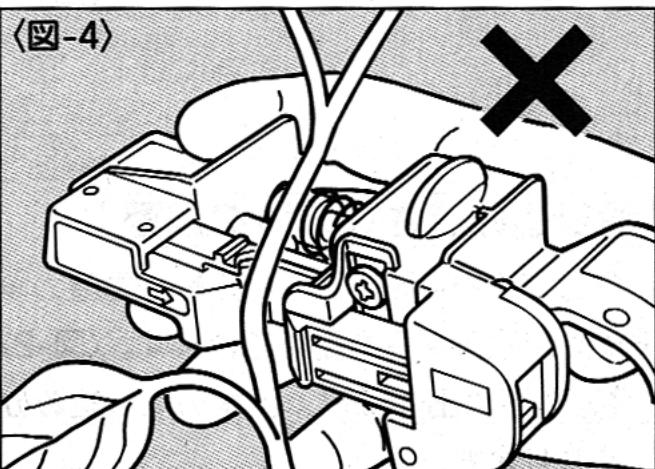
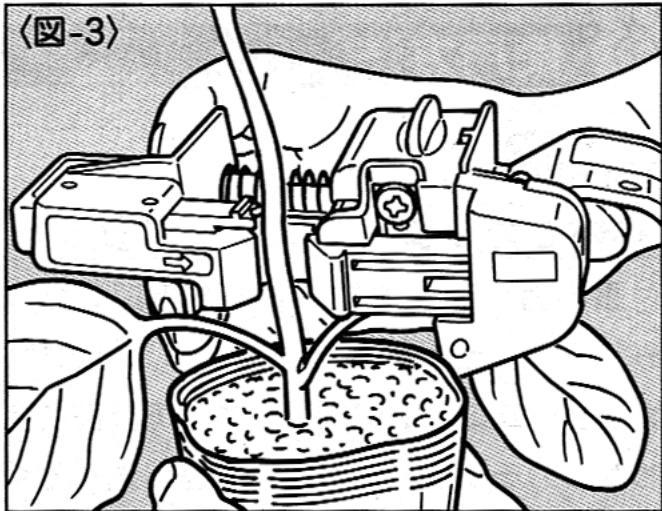
使用時

茎カットの作業方法

本体茎挿入部に茎を入れ、ハンドルを握って茎をカットしてください。 **〈図-3〉**

※きれいにカットするには…

- ・苗押さえの凹んだ部分に茎が当たるようにしてください。
- ・縦刃が茎にまっすぐ当たるように狙ってください。 **〈図-4〉**
- ・予め節間を長く育ててください。



警告

- 本体の茎挿入部に指を差し込まない。

使用後

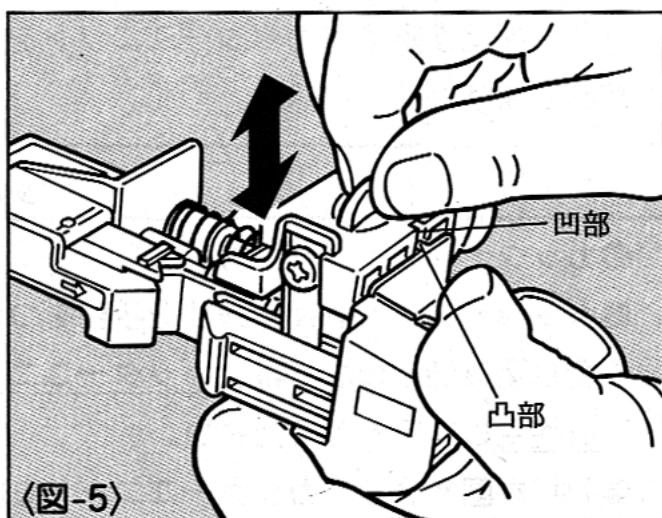
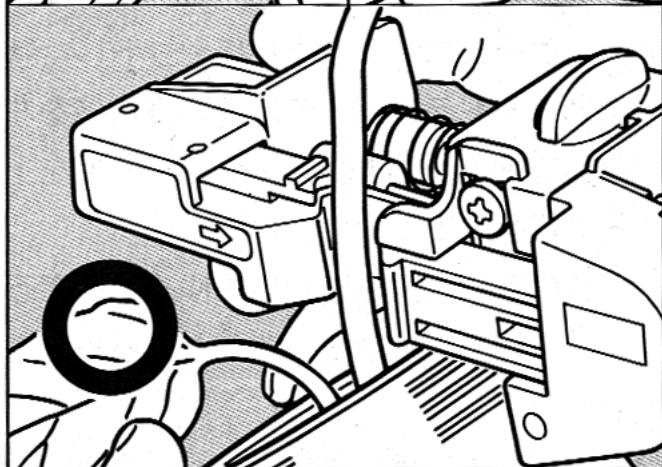
カッターユニットの交換

刃の切れ味が悪くなりましたら（約1,000回のカットが目安です）、新しいカッターユニット「TK-WDCカエバ」（別売）と交換してください。

①カッターユニットの把手部をつかみ、本体から上方垂直に引き抜いて取り外してください。 **〈図-5〉**

②新しいカッターユニットを本体に差し込んでください。

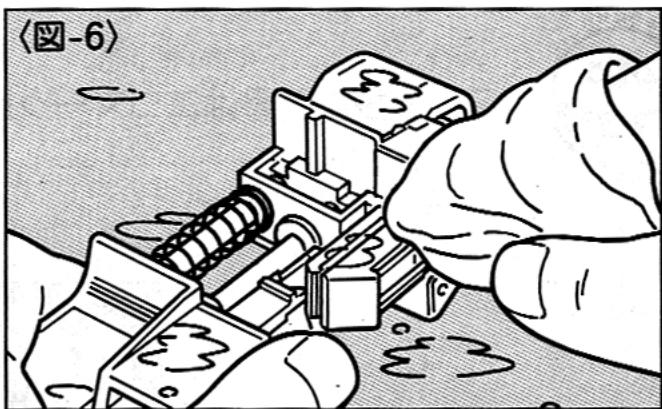
この際、カッターユニットの凹部に本体の凸部を合わせ、カチッと音がするまで差し込んでください。 **〈図-5〉**



お手入れについて

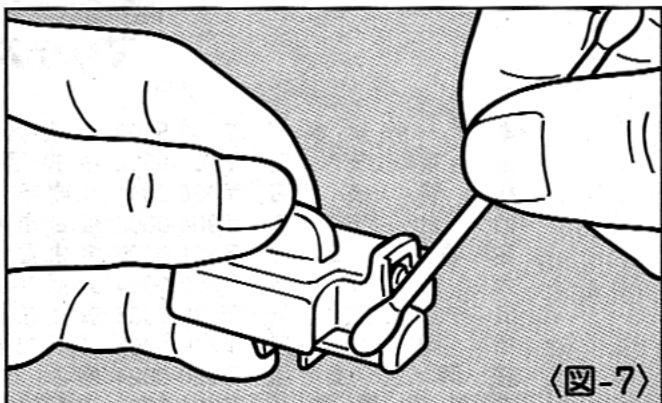
本機の使用後には、樹液・泥が付着して、本体の動きが悪くなる可能性があります。まず本体からカッターユニットを取り外し〈図-5参照〉、綿棒等を使用して水洗いしてください。

〈図-6〉〈図-7〉



△注意

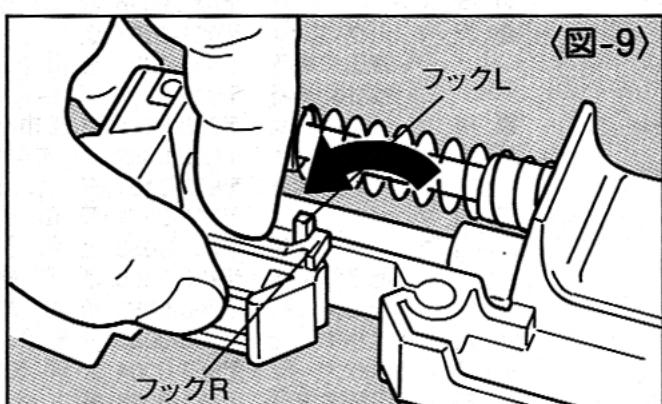
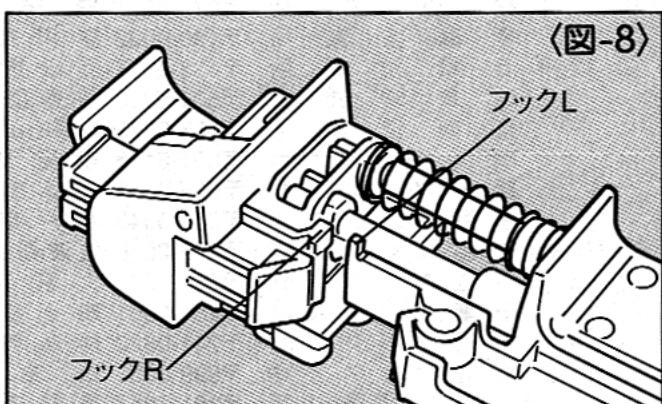
- カッターユニット（替刃）は刃物です。刃の部分に直接手を触れないでください。
- カッターユニットは、必ず把手部をつかんでお取り扱いください。



●垂直（縦刃）カットができない時

本体裏側のフックR、フックLがはずれている場合があります。 〈図-8〉

本体から必ずカッタユニットを取りはずし、フックL、フックRを図の様に引っかけてください。 〈図-9〉



4 アフターサービスについて

- 本機の調子が悪いときは、使用を中止して、お買い求めの販売店又はマックスサービス(株)にご相談ください。